

平成30年度 学校教育自己診断

1 対象者

	生徒	保護者	教員
H30	279/547	106/547	32/44
	51.0 [%]	19.4 [%]	72.7 [%]
H28	39.8 [%]	20.1 [%]	100 [%]
H29	50.4 [%]	19.4 [%]	91.5 [%]

2 実施時期 平成30年12月初旬～1月末（マークシートによるアンケート）

3 評価について

- (1) 回答項目の「よくあてはまる・「ややあてはまる」を肯定的と捉え、「あまりあてはまらない」・「まったくあてはまらない」を否定的と捉え数値化した。
 (2) 昨年度との比較を行い10%以上の増減（++ --）
 10～5%の増減（+ -）を記号化した。

4 アンケート結果

生徒

	診断項目	肯定率		H29	H28
1	学校へ行くのが楽しい。(H29桃谷高校に入学してよかった。)	60.6	--	86.7	86.0
2	この学校には、生徒のニーズにあった特色がある。	89.5		87.7	87.3
3	授業は、わかりやすく楽しい。	69.5		74.3	71.8
4	教え方にさまざまな工夫をしている先生が多い。	76.3		76.9	78.2
5	本校の授業は、あなたの期待に応えることができている。	70.9		74.0	70.1
6	ビデオ、スライドなどの視聴覚機器やコンピュータなどを使う授業が多い。	64.0		60.1	52.7
7	授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。	46.4	+	40.4	37.1
8	学校生活についての先生の指導には納得できる。	79.9		80.1	74.5
9	先生は、いろいろな問題を見逃さず対応してくれる。	70.3		69.7	63.2
10	先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	78.0		78.6	
11	生徒のことをよく理解している先生が多い。	76.9		76.8	73.8
12	文化祭や体育祭などの学校行事は、楽しく行えるよう工夫されている。	73.7		71.6	66.7
13	学校は、部活動にも参加しやすいよう工夫している。	64.4		62.8	51.6
14	担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる。	60.8		64.4	49.8
15	将来の進路や生き方について考える機会がある。	77.7		79.9	70.6
16	学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる。	78.6		74.8	69.2
17	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	77.0	+	71.9	71.4
18	人権の大切さについて学ぶ機会が多い。	79.7		79.0	74.3
19	学校で地震や火災などの災害がおこった場合、どのような行動をとればよいか、具体的	67.6		65.7	55.9
20	教室・特別教室・運動場などは、授業や生活がしやすいよう整備されている。	83.1		80.1	74.2
21	学校のホームページやメールマガジンを活用している。	66.2		66.9	52.3

保護者

	診断項目	肯定率		H29	H28
1	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。(H29桃谷高校に入学させてよかった)	61.3	--	95.3	97.3
2	この学校には、生徒や保護者のニーズにあった特色がある。	98.1		95.3	97.3
3	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。	65.1	--	79.0	69.0
4	学習の内容や進度等を、懇談や通信などによって知ることができる。	80.0		75.2	74.1
5	学校の生徒指導の方針に共感できる。	89.4		86.7	86.6
6	学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	90.5	-	97.1	90.3
7	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	92.2		92.2	
8	先生は子どものことを理解してくれている。	84.0		85.8	82.3
9	文化祭や体育祭等の学校行事は、生徒が楽しく参加できるよう工夫されている。	83.8		85.7	73.5
10	子どもの心身の健康について、気軽に先生に相談できる。	83.0		81.1	79.6
11	学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	85.7		84.6	80.5
12	生徒指導面や進路面で、学校は家庭への連絡や意思疎通を、きめ細かく行っている。	80.0		76.2	77.0
13	学校は、子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。	82.9		78.3	79.6
14	学校は、生徒に人権を尊重する意識を育てようとしている。	85.7		86.7	87.6
15	学校は、教育情報について、提供の努力をしている。	84.6		89.6	79.6
16	地震や台風などの場合の対応については、子どもや保護者に行動マニュアルが知らされて	86.8	++	69.8	75.9
17	学校では、子どもに関する個人情報を守られている。	94.2		94.2	92.9
18	学校の施設・設備は学習環境面でほぼ満足できる。	82.7		81.0	74.3
19	学校のホームページやメールマガジンを活用している。	68.3		68.6	74.3
20	この学校の授業参観や学校行事などに参加したことがある。	44.8	+	36.4	30.1
21	P T A活動には参加しやすい。	33.7		29.9	22.1

教員

	診断項目	肯定率		H29	H28
1	生徒は、桃谷高校に入学してよかったと思っている。	93.8	+	88.1	89.6
2	この学校は、生徒や保護者のニーズにあった特色がある。	96.9		95.2	93.8
3	わかりやすく楽しい授業を心がけている。	96.9		97.6	95.8
4	学習指導を、個に応じた観点で工夫して行っている。	90.6		88.1	89.6
5	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	90.6		85.7	91.3
6	家庭連絡をきめ細かく行い生徒指導にいかしている。	68.8	--	83.3	80.9
7	生徒の問題行動がおきた時、組織的に対応できる体制が整っている。	68.8	-	76.2	68.8
8	この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	71.9		76.2	81.3
9	学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	71.9		76.2	72.9
10	学校として、生徒が達成感を得られるよう、部活動の活性化について工夫している。	59.4		54.8	47.9
11	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができ	84.4	+	76.2	81.3
12	「生きる力」を育み、自らの将来像を描くことができるように系統的なキャリア教育を	62.5		64.3	60.4
13	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を	84.4	+	78.6	79.2
14	教育活動において、生徒に社会規範を守る意識が育まれる機会をつくるよう配慮してい	71.9	+	61.9	68.1
15	人権尊重に関する様々な課題や指導方法について、職員間で話し合っている。	59.4	+	52.4	54.2
16	事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されて	54.8	-	64.3	43.8
17	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができてい	81.3	++	66.7	
18	個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立している。	68.8	+	61.9	77.1
19	この学校では、学習や活動がしやすいように施設や設備が整っている。	25.0		28.6	27.1
20	関連機関との連携を深め、教育活動全般に生かしている。	75.0		76.2	60.4
21	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	62.5	--	76.2	66.7
22	学校運営に教職員の意見が反映されている。	25.0	--	54.8	45.8
23	各分掌の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。	56.3	--	78.6	50.0
24	職員会議をはじめ各種会議が、情報交換と課題検討の場として有効に機能している。	40.6	--	52.4	39.6
25	この職場においては、教職員の服務規律への自覚が高い。	78.1		81.0	68.8
26	校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施されている。	64.5	-	73.8	72.9
27	全体として、初任者を育てる体制ができている。	74.2		73.8	
28	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	80.6			

5 分析

(1) 全体

○各項目に増減は見られるものの、生徒・保護者・教員のすべてにおいて肯定率50%以上を9割の項目において保っている。また、肯定率70%も生徒で6割、保護者で7割と全体的な満足度は高いと考える。経年変化での大幅な下落項目もほとんどなく、本校が長年大切にしてきた教育方針が広く定着している表れであると捉え、今後も持続性のある教育活動として取り組んでいきたい。

(2) 生徒

○設問1の変更が影響(「入学してよかった」と「学校へ行くことが楽しい」はかなりニュアンスが違う)していると考えられる。このことは設問②がやや微増していることで分析が可能である。

○設問3は、「わかりやすい」と「楽しい」の二つの要素を尋ねており、設問4の肯定率はほぼ横ばい、設問5の数値が若干下落しているため、要因としては後者の方が強いのではないかと類推する。加えて設問7の上昇と反比例して、発表などのアクティブな活動が苦手な生徒が否定的な回答を行っている可能性も否めない。

○設問6、7は、過去、授業アンケートの生徒評価が低かった項目で、本年度は授業力向上の取組もあり、意識的に各教員がICTを活用やアクティブ・ラーニング的な要素を授業に導入したことの影響によるものと考えられる。

○設問15、16、17、18は、ほぼすべての項目で上昇が認められる。進路総務主催の「進路説明会」や、生徒保健部主催の「交通安全教室」「薬物乱用防止教室」、人権委員会主催の「人権LHR」など、水曜日の3・4時間目を用いた全体総合・全体LHRが効果をあげていることがわかる。

(3) 保護者

○設問6は、数値を下げているが肯定率は90%以上の高水準を維持している。

○設問20、21は、メルマガや担任から参加しやすい情報発信がなされていることに加え、学校としても参加しやすい環境整備に取り組んできたことが背景にあると考えられる。

(4) 教員

○教職員については今回大幅な数値の下落が認められる項目があるが、アンケートの時期が本校の再編整備の発表の時期と重なり、職場内で一時混乱が見られたことが影響の一因であると分析する。また、今回のアンケート回収率が72%と例年よりもかなり低いこと、データとしては大きな誤差が出た可能性も否めない。

6 課題

(1) 全体

○肯定率が高い項目については、現在の水準を維持できるよう継続した取り組みを進めていきたい。また、今年度の増減に関わらず、肯定率が低い項目については管理職や各分掌・委員会等で十分に内容の精査を行い、組織的に改善に向けての方向性やその方策を検討・実践していきたい。

○より正確なデータを得るために、アンケートの回収率の向上に努めたい(特に教員については回収率100%となるように全体に働きかけたい)。

(2) 生徒

○授業については、生徒のニーズを的確に踏まえつつより効果的な教育活動ができるように、授業アンケート等も活用しつつ改善を図っていきたい。また各授業者が授業のねらいや生徒に対する願いを明示し、単に「楽しい」ではなく、「学びたい」「ためになる」と学ぶ意義を感じられる授業を作り上げていけるように努めたい。

○「アクティブ・ラーニング」については、先入観や固定観念にとらわれずその本質を見極め、本校の生徒にとって適切な手法で実践していくことが求められる。

(3) 保護者

○本校の様々な教育活動・学校情報を十分に知っていただけるよう、情報発信の方法の検討と質の向上に努めたい。

○PTA活動については、年々上昇傾向にはあるものの依然低い数値なので、改善を図ってきたい。

(4) 教員

○次年度は、再編に係る取り組みと本校の閉課程に係る取り組みを並行して行っていく必要がある。意思伝達や情報交換・課題検討を密に行えるような仕組みづくり、体制の見直しが急務である。

○学校運営が円滑に進められるよう、校内組織の再点検が必要である。